

ごあいさつ



トーナメントディレクター

高橋 孝由
(NTTビジネスアソシエ東日本)



株式会社ダンロップスポーツマーケティング
代表取締役社長

水野 隆生

第33回ダンロップ社会人テニス選手権・東京大会の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

ゴールデンウィークに入り爽やかな初夏を迎える今日この頃ですが、本格的なテニスシーズンの幕開けの前に体力作りに励んでおりますでしょうか。

2012年はオリンピックイヤーでウィンブルドンテニスは125回の節目の年を迎えます。

日本勢では最も期待度が高まっている錦織圭選手が、今年の全豪ではランキング上位選手を倒して日本男子では46年ぶりとなる3回戦進出を果たし、今季は好調さが目立っています。日本テニス界が面白くなってきました。

そして恒例の真夏の大トーナメントである社会人選手権大会も大いに盛り上げていただきたいと思えます。また、スポンサー各社様には毎年のご支援に改めてお礼申し上げます。

本大会は男女ともクラス別で実施し、Aクラスを除き1回戦で敗れても敗者戦<サバイバル戦>により最低2試合はできます。今大会より、壮年の部シングルスは、45歳以上と50歳以上の部に分けて実施する予定です。

優勝を目指して熱い戦いが展開されることを期待すると共に、ラストショットまで、集中力を切らさずにどうぞ自分の力を遺憾なく発揮していただきたいと思えます。

今回も約1,100名以上の参加者に満足していただくような大会運営を目指し少人数で運営いたしますので、皆様のご協力も欠かせません。どうぞ選手の皆様もご協力をお願いいたします。

最後に本大会のご後援いただく株式会社ダンロップスポーツマーケティング様に対し御礼申し上げますと共に、出場チーム選手にとって実りある大会となりますようお祈りいたします。

第33回ダンロップ社会人テニス選手権・東京大会が今年も盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

本大会は、各企業で活躍される社会人の方々のテニスのレベルアップと、お互いの交流をより一層深めることを目的として創設された大会と承っております。

今回で33回目を数えるわけですが、これもひとえに、本大会を創設されました東京都テニス協会実業団委員会をはじめとする関係各位の熱意と努力の賜と確信いたしております。

この大会には男子・女子・壮年のそれぞれの種目ごとに多くのクラスが設けられているため、選手の皆様はその実力に合わせたエントリーができますが、初戦敗者によるサバイバル戦方式の導入に加え、今大会からは壮年シングルスは45歳以上と50歳以上の部に分けての実施となり、ますます充実した大会となっております。

このことは、社会人テニスはもとより、テニス界の発展に多大な貢献をしておられ、このような意義のある素晴らしい大会に、私どもダンロップスポーツマーケティングが協賛会社として、協力させていただきやすことは誠に光栄でございます。

今後とも微力ではありますがお役に立てるべく努力していきたくと考えております。

最後に、本大会の開催に際しまして、主催者であります東京都テニス協会様、運営にあたられます東京都実業団委員の皆様、各分野でご尽力されました関係各位に心から敬意を表しますとともに、本大会のますますのご発展をお祈り申し上げます。